

セミナー企画：システム監査の効果的進め方

狙い

情報システムが企業活動の中核を占める度合いが高まるに従い、情報システムの信頼性、安全性、効率性、有効性に対する要求も高まってきています。そして、経営目的に合致した有効で効率的なシステム環境になっているか、取り巻くさまざまな脅威に対して安全で信頼性の高いシステム環境になっているか、といった観点でシステム環境を客観的に評価し必要な改善に結びつけるシステム監査が、今大きな注目を集めてきています。

本セミナーは、組織内のさまざまな立場の方を対象に、それぞれの立場におけるシステム監査の意義、係わり、実施にあたってすべきことを理解し、システム監査を効果的に進めていただくことを狙いにしています。

内容

システム監査の基礎的なコースと位置づけ、次のテーマで、参加者の皆さんと一緒に考えます。

- ・システム監査の意義
- ・システム監査の進め方
- ・システム監査人の役割、システム監査を受ける立場の役割
- ・システム監査を取り巻く動向

システム監査の進め方では、事例に基づいて重要なポイントに焦点を当てながら、実践に役立つお話をします。

対象者

経営者：システム監査の導入および監査報告を受けての改善指示を役割としています。

システム監査部門のシステム監査人：システム監査の計画、実施、報告を役割としています。

情報化部門・業務部門の管理者、担当者：システム監査を受け、監査結果を改善活動に生かすことを役割としています。

形式

講義

意見交換：講義の中で参加者の皆さんと意見交換を行います。

時間

2時間

その他

「システム監査実践コース」につなげるためのセミナーとして位置づけます。